

八軒地区 情報モラル研修会

～安心・安全にデジタルを使いこなすために～



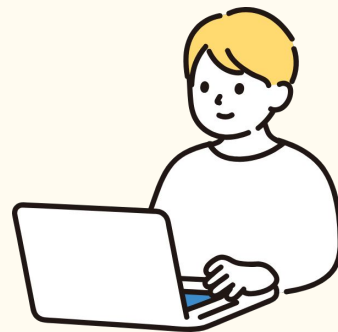
子どもたちの
ネット利用の
現状と、大人が
できること

令和8年8月24日(月)
札幌市教育委員会教育課程担当課

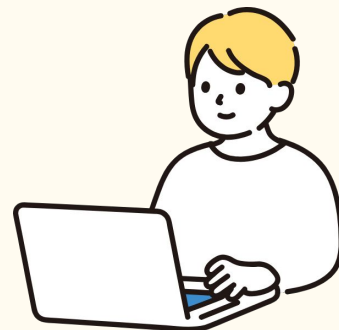
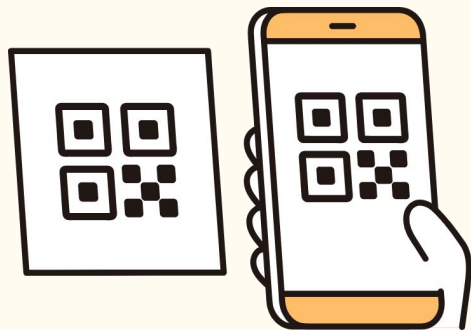
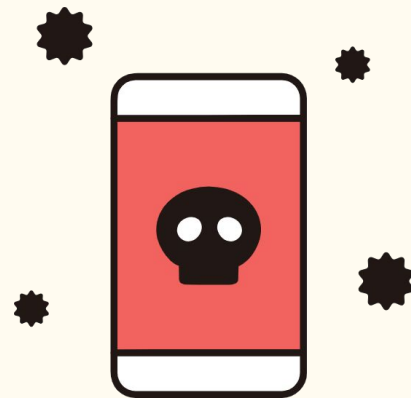
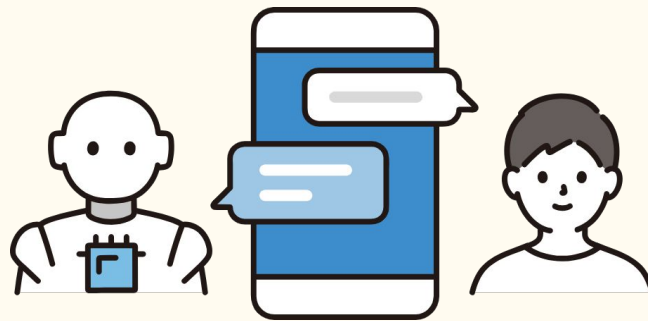
情報モラルとは

■情報社会で適正な活動を行うための 基になる考え方と態度

インターネットやデジタル機器を
安全・快適に利用し、トラブルを
起こさないために身に付ける
マナーや考え方



なぜ今、情報モラルの育成が必要なの？



- (1) 子どもを取り巻くインターネット等の状況**
- (2) 子どもが直面している問題**
- (3) 学校における情報モラル教育と家庭との連携**
- (4) 学校・家庭・地域がともに取り組む必要性**

【現状①】 低年齢化するネット利用

小学生



日常利用率

自分専用スマホ所持率：約6割超



中学生



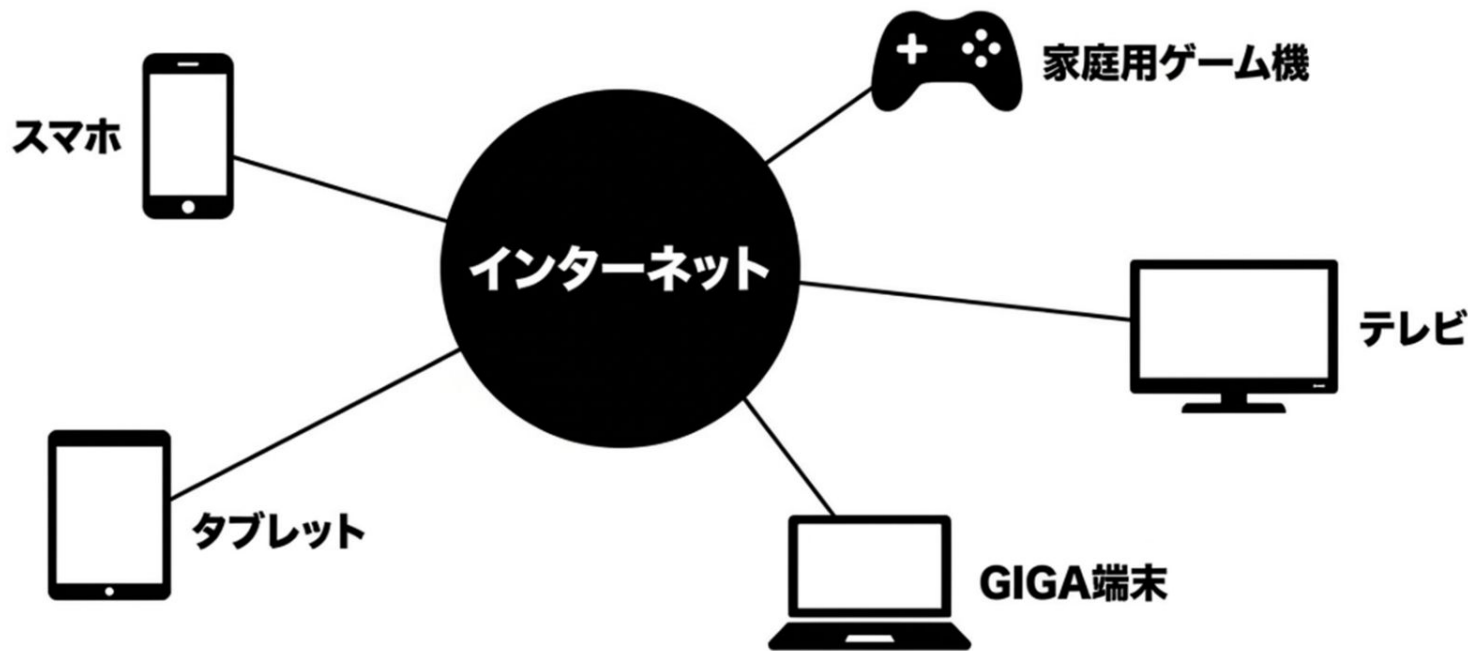
日常利用率

自分専用スマホ所持率：約9割



接続機器の多様化

日常空間のあらゆる場所に存在する「窓」



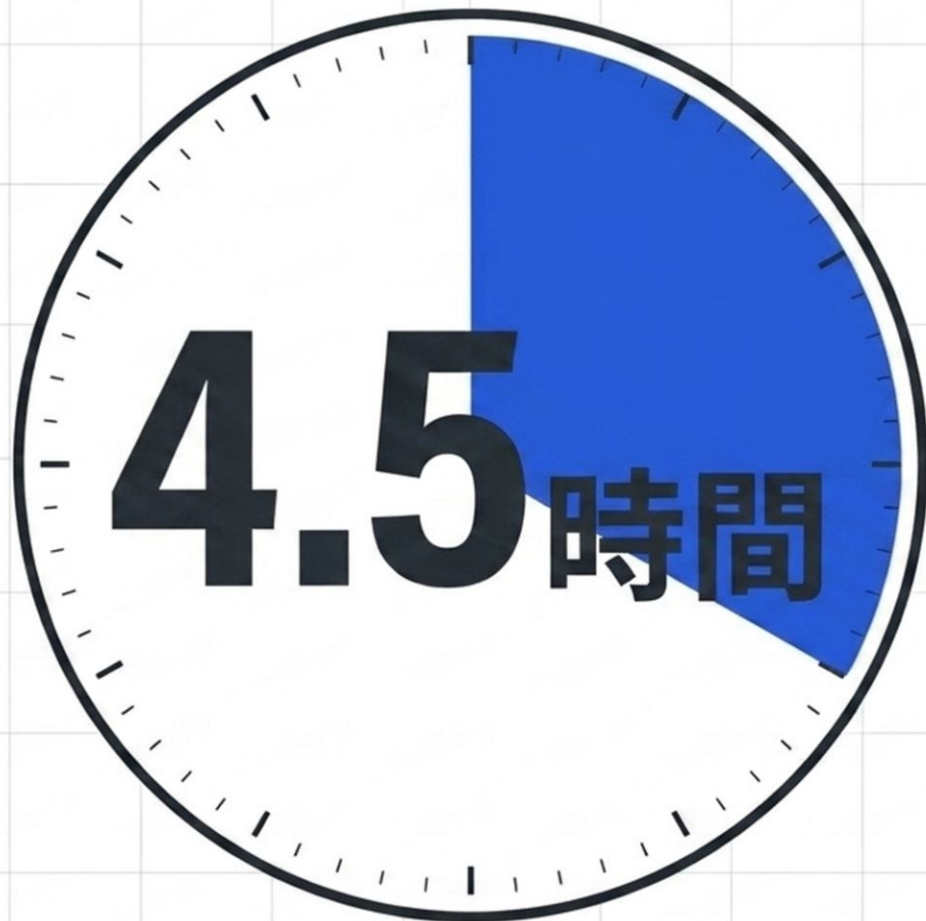
小学生の1日平均利用時間

起床時間の
「約4分の1」を
占める



中学生の1日平均利用時間

半日に迫る、
スクリーンと
向き合う時間



圧倒的第1位 動画視聴



「観る」が日常のベース

オンラインゲーム



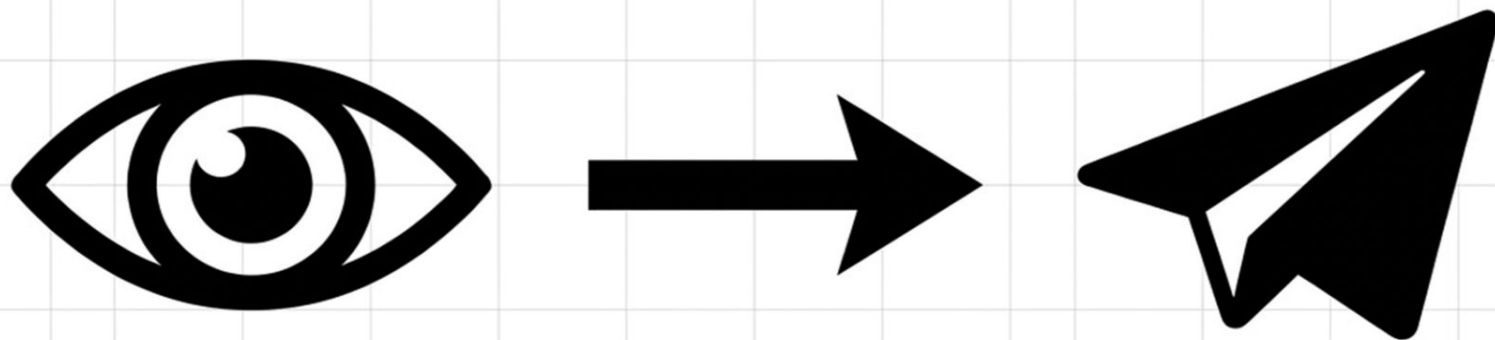
ゲーム = 遊び場 + 社交場
ボイスチャットによる「常時接続」

コミュニケーション（LINE等）



**途切れることのない人間関係
既読・返信のプレッシャーと隣り合わせの日常**

SNSの浸透



**「見る」から「参加する」へ
常に誰かと繋がり、評価される空間**

子どもが直面している問題①



子どもが直面している問題①



子どもが直面している問題①

個人情報の漏えい

制服や背景から学校・自宅が
特定される危険



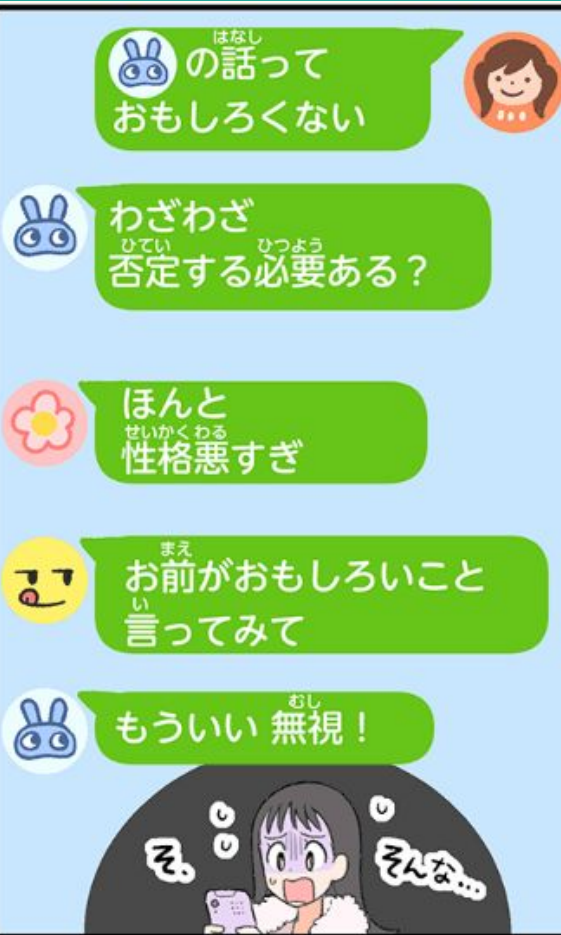
トラブルの拡大

友達の顔写真を許可なく投稿
➡ 肖像権やプライバシーを
巡る問題へ

子どもが直面している問題②



子どもが直面している問題②



子どもが直面している問題②

① あなたが、SNS等でクラスの友だちからされて「いやだな」と感じる順にならべてみましょう。

①

すぐに返信が
来ない

②

なかなか会話が
終わらない

③

知らないところで
自分の話題が
出ている

④

話をしているときに
ケータイ・スマホ
をさわっている

⑤

自分が一緒に
いっしょ
写っている写真
を公開される

いやだ

いやではない

子どもが直面している問題②

1 あなたが、SNS等でクラスの友だちからされて「いやだな」と感じる順にならべてみましょう。

1 すぐに返信が 来ない	2 なかなか会話が 終わらない	3 知らないところで 自分の話題が 出ている	4 話をしているときに ケータイ・スマホ をさわっている	5 自分が一緒に 写っている写真 を公開される
--------------------	-----------------------	---------------------------------	---------------------------------------	----------------------------------



いやだ ←			→ いやではない	
5 自分が一緒に 写っている写真 を公開される	1 すぐに返信が 来ない	3 知らないところで 自分の話題が 出ている	4 話をしているときに ケータイ・スマホ をさわっている	2 なかなか会話が 終わらない



いやだ ←			→ いやではない	
4 話をしているときに ケータイ・スマホ をさわっている	3 知らないところで 自分の話題が 出ている	1 すぐに返信が 来ない	2 なかなか会話が 終わらない	5 自分が一緒に 写っている写真 を公開される

情報モラル教育 ポータルサイト (文科省)



令和8年6月3日事務連絡 「情報モラル教育推進事業」 新規作成及びアーカイブ動画等 の提供について (市教委)



事例で学ぶNetモラル for まなびポケット



それぞれに、児童生徒向け動画、保護者向け動画、
教員向け授業資料等がある。

◎児童生徒向け（授業での活用、家庭での視聴）

情報モラル教育 ポータルサイト (文科省)



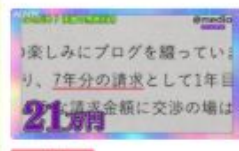
情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材② そのつかいかた ほんとうに正しい？（小学生向け））

掲載元：文部科学省



情報化社会の新たな問題を考える動画教材（教材② チャットツールを用いた協働学習（小学5年生～中学1年生））

掲載元：文部科学省



アッ！とメディア～@media～
～（どうして許可をとるの？～著作権～）

掲載元：NHK for School

1人1台端末時代の今、メディア・リテラシーを身に付けていないことで起こる身近な「ヒヤリハット」事例をドラマで、「メディア」の特徴や社会に及ぼす影響は、VTRでわかりやすく伝えます。

コンテンツ内容：
テーマは写真のコピーと著作権。コピペはネットから無断コピーしたSNSを投稿しようとし、注意される。「ネットの画像コピーは盗み」や「ネットの画像コピーは盗み」と聞かされるがなぜ問題？

令和8年6月3日事務連絡
「情報モラル教育推進事業」
新規作成及びアーカイブ動画
等の提供について（市教委）



小学校5、6年生向け



中学校向け

事例で学ぶ Netモラル

事例で学ぶ Netモラル



児童生徒向けの動画は豊富。対象学年や内容で絞り込みが可能。
5～10分程度のものが多いので、**学活や給食時間、集会時**などに時間をとって活用しやすい。

◎保護者向け（保護者視聴動画、啓発コラム）

情報モラル教育 ポータルサイト (文科省)



家庭での活用・保護者への啓発	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	高校
保護者への啓発	●	●	●●●●	●●●●	●●
家庭でのトラブル報道	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●



情報化社会の新たな側面を感じる動画教材 (教材を扱い気持ちのID交換から...)

学校にありと隠れてつるに開く盗撮の一端の光景を捉え、先ほどもお話しした通り、盗撮が急増する中、児童生徒向けの動画教材と教材を作成しました。

コンテンツ特徴：
見知らぬ人とのやり取りや個人情報提供の危険性を解説し、安全にインターネットを利用する態度を育てる。

●をクリックすると動画を見ることができる。

令和8年6月3日事務連絡
「情報モラル教育推進事業」
新規作成及びアーカイブ動画
等の提供について（市教委）



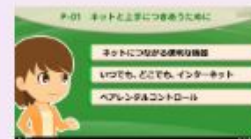
自分で判断できる力を
養うために

保護者向け情報モラル講座＜小学校＞

小学校向け、中学校向けがある。
URLを**学校ホームページに載せたり、すぐーるで配信**したりすることも考えられる。
掲載期間：令和9年3月頃まで

事例で学ぶ Netモラル

事例で学ぶ Netモラル



保護者向けコラムが複数あり。
懇談の資料やお便りで配付することが考えられる。



◎教員向け（授業実践事例や資料のダウンロード）

The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying "http://www.cream7-swift.co.uk". The page title is "CREAM 7-SWIFT". The main content area features a large heading "CREAM 7-SWIFT" in a stylized font. Below the heading, there is a paragraph of text describing the company's services, which includes a list of bullet points. The text is partially obscured by a large, semi-transparent watermark that reads "CREAM 7-SWIFT". The overall design is simple and professional, with a blue and white color scheme.

[illegible]

家庭での「使いすぎ」をどう考える？～「使いすぎ」を指導する3つのポイント～



偽情報・誤情報で惑わされないためにデータで見る現状と「情報を確かめる力」の育成—



SNS上の情報は置っている？～フィルターバブル・エコーチェンバー～



銀行取組の現状 - 試算とSNS表
上：教職員が知っておくべき仕組み
と留意点

相關資料

この他にもコンテンツあり。
いずれも10分前後で**校内研修**での視聴も考えられる。

情報伝達の状況について考える（副読本
材料）

推薦・學部：中堅校

複数の授業実践事例が紹介され、ワークシートのダウンロードも可能。

令和8年3月19日通知
令和8年度1人1台端末活
用に向けた年度初めの取
組について（市教委）



(4) 授業の取組	題材・教科・単元・主題に横断する学習教材	内容（参考）
1 学年 1 学期	① 地域の歴史 「あまのたけ」となごのまち ② 方言（スラング・スラング）って どうやってつづいたの？	・ 地域の文化や歴史を学ぶ機会をもち、あまのたけの歴史や文化を学び、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ スラング（スラング）や方言（方言）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ 方言（方言）やスラング（スラング）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。
2 学年 2 学期	① 地域の歴史・文化・歴史・文化 「あまのたけ」となごのまち ② 方言（スラング・スラング）って どうやってつづいたの？	・ 地域の文化や歴史を学ぶ機会をもち、あまのたけの歴史や文化を学び、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ スラング（スラング）や方言（方言）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ 方言（方言）やスラング（スラング）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。
3 学年 3 学期	① 地域の歴史・文化・歴史・文化 「あまのたけ」となごのまち ② 方言（スラング・スラング）って どうやってつづいたの？	・ 地域の文化や歴史を学ぶ機会をもち、あまのたけの歴史や文化を学び、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ スラング（スラング）や方言（方言）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ 方言（方言）やスラング（スラング）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。
4 学年 4 学期	① 地域の歴史・文化・歴史・文化 「あまのたけ」となごのまち ② 方言（スラング・スラング）って どうやってつづいたの？	・ 地域の文化や歴史を学ぶ機会をもち、あまのたけの歴史や文化を学び、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ スラング（スラング）や方言（方言）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ 方言（方言）やスラング（スラング）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。
5 学年 5 学期	① 地域の歴史・文化・歴史・文化 「あまのたけ」となごのまち ② 方言（スラング・スラング）って どうやってつづいたの？	・ 地域の文化や歴史を学ぶ機会をもち、あまのたけの歴史や文化を学び、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ スラング（スラング）や方言（方言）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ 方言（方言）やスラング（スラング）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。
6 学年 6 学期	① 地域の歴史・文化・歴史・文化 「あまのたけ」となごのまち ② 方言（スラング・スラング）って どうやってつづいたの？	・ 地域の文化や歴史を学ぶ機会をもち、あまのたけの歴史や文化を学び、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ スラング（スラング）や方言（方言）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。 ・ 方言（方言）やスラング（スラング）の歴史や文化について学ぶ機会をもち、地域の歴史や文化に対する理解を深める。

◆【別添7】情報モラルに係る学習の事例

別添7では、**道徳の教科書にある情報モラルに関する教材を整理。**
道徳の年間計画に適切に位置づけていく。

事例で学ぶ
Netモラル



学年や内容で絞り込むことが可能。
指導のポイントや展開例、板書計画
などの資料をダウンロード可能。

フィルタリングは、デジタルの世界の「シートベルト」です。

無防備な状態のリスク



不適切なコンテンツ

年齢に合わない有害情報への偶発的なアクセス



高額請求・詐欺

ワンクリック詐欺や、意図しない定期購入・高額課金



犯罪・トラブル

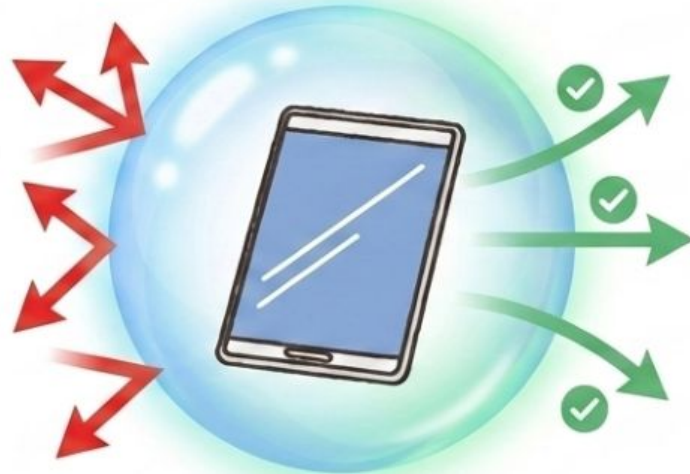
SNS等を悪用した見知らぬ人からの接触



ネット依存

長時間利用による昼夜逆転や学習の遅れ

フィルタリング



フィルタリングは「制限」ではなく、安全な情報を届ける「盾」です。
親の目が届かない時間も、システムが自動で子どもを守ります。

ネットの安全の方程式



家族のルール



×



フィルタリング

=



ネットの安全

フィルタリングを設定した上で、いつ、どのように使うから話し合うことが大切です（例：学習以外の目的では使わないなど）。

端末は「与えるだけ」から「共に使い方を学ぶ」ステージへ

過去：アナログのみ



現在：1人1台端末の融合



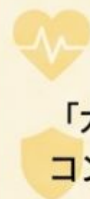
学びの拡張



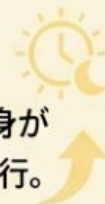
端末により、自分の感覚や行為を通して理解する学習の可能性が無限に広がる。



新たな自己管理



健康面・生活リズム・安全面において、「大人に管理される」のではなく、「子ども自身がコントロールする力」を育てるフェーズへの移行。



「禁止」ではなく「話し合い」から始める

【NG】押し付けのルール



一方的に禁止事項を決める

= 隠れて使うようになる、トラブルを相談できなくなる。

【OK】話し合いのルール



いつ、どのように使うか話し合う

= 納得して自らルールを守る力が育つ。

“

文部科学省の指針より：「端末を、いつどのように使うか、お子様と話し合うことが大切です」

健やかなデジタル活用を支える「3つの柱」

我が家のデジタルライフ

柱1：カラダを守る
目・姿勢・光

柱2：時間を守る
睡眠・リアルな体験

柱3：ココロと未来を守る
フィルタリング・情報モラル

画面の外にある「リアルな体験」を奪わない



← 現在位置：柱②
時間を守る



一概に「何時間までならOK」という正解はありません。
重要なのは、デジタル機器の利用が、成長期に必要な他の
有意義な活動時間を圧迫していないかという「バランス」です。

【学校端末のルール】 学校で配られた端末は、学習に関係ない目的では使いません。

トラブルが起きたら「一人で悩まない、責めない」



**ルールを破ってしまった、
トラブルに巻き込まれた時、
「怒られる」と思って親に
隠すのが最も危険です。
「困ったときは絶対に助けるから、すぐに言ってね」
と伝えましょう。**

子どもを孤立させず、 大人全体でどう見守っていくか？

